

# 中学生がオーストラリアで国際交流しました

## 平成30年度 行方市中学生海外派遣研修



古き良きオーストラリアの文化に触れることができる街、ビクトリア州メルボルン。今年も、行方市の中学生20人が、現地でさまざまな体験をしてきました。

本市では、これまでに合計295人の先輩たちをオーストラリアへ派遣。本年度は8月1日から9日まで、現地受け入れ校であるビクトリア州立ウィンダムセントラルカレッジで、バディ（同年代の学生）と一緒に授業に参加したり、ホストファミリーのお宅でホームステイしたりと、充実した9日間を過ごしました。

生きた英語を学ぶことはもちろん、現地の人たちとの交流を深めることができ、充実した研修となりました。



ビクトリア州立ウィンダムセントラルカレッジ

### 現地校での生活

バディと同じクラスに参加！

現地校の学生と同じ内容の授業で、少々困難が強いられましたが、生徒たちはしっかりとノートを取り、内容を理解しようと一生懸命な姿が見られました。

また、フットボールの授業では、初めて触るボールに戸惑いながらも、徐々にバウンドの変化に慣れはじめ、最後にはミニゲームを行うことができました。



## 国際交流

日本語を学ぶ現地校の生徒が講堂に集まり、両校の生徒によるパフォーマンスを披露。本市の生徒たちは、中学校ごとに日本の遊びや書道パフォーマンスを行いました。現地校の生徒も先生方も一緒に体験し、楽しんでもらいました。

現地校の生徒たちは、AKB48のダンスや吹奏楽の発表をし、吹奏楽には本市の生徒も飛び入り参加しました。



## ホームステイ

ホストファミリーのお宅に、1人でもホームステイ。ファミリーとは、ほぼ英語のみで会話をします。週末は各家庭でさまざまなプランが企画され、楽しい時間を過ごしました。



## バディとのお別れ

校内での別れを惜しみ、バスまでバディが駆けつけてくれました。握手やハグを交わし、再会することを誓いました。



## グレートオーシャンロード見学

「世界で最も美しい海岸道路」と呼ばれる、グレートオーシャンロードを訪れました。この場所は、自動車のCMなどで数多く使われています。



## この研修を通して

この海外派遣研修で出会ったバディやホストファミリー、学校の先生方の英語が聞き取れなかったり、思いを伝えられなかったりと、歯がゆい思い、悔しい思いをした生徒も多かったと思います。

これらの思いは、今後の英語学習の糧となることでしょう。

2年後の2020年には、東京でオリンピック・パラリンピックが開催され、世界各国からたくさんの方々が日本へ訪れます。今回の経験を生かして、この大会のボランティアで活躍したり、将来は海外で仕事に就いたりなど、皆さんのこれからの活躍が期待されます。

## 研修成果報告 北浦中 成田彩華

ホームステイでは、日本とは違った文化を家族の一員として体験できたことが、学校生活では、さまざまな人種の人たちと生活を共にしたことが良い経験となりました。



海外派遣で学んだことを、これからの生活でたくさん生かしていきたいと思います。

このたび、さらなる国際理解と相互交流を深めることを目的に、麻生中学校とビクトリア州立ウインダムセントラルカレッジが姉妹校協定を締結する運びとなりました。

今後、生徒や教師のインターネットを活用した交流や相互訪問の機会創出などを行うこととしています。



ウインダムセントラルカレッジ リアン ガガツィス 校長(左)と麻生中学校 青木利宏校長

## 問い合わせ

学校教育課(北浦庁舎)  
0291(35)2111